

建築審査会添付図書記載例

(法第56条の2)

目標となる地物は、最寄りの駅や市役所など誰もが知っているものとし、名称は見やすい文字で表示し枠で囲む。

〇〇駅

原則、図面右上に記載することとし、他の図においても、記載位置及び表示を合わせる。



申請地は赤色塗りつぶしとし、見づらい場合は、赤枠で囲む。

申請地

申請地文字は、赤字で記載し枠で囲む。

用途地域の表示は、都市計画図の表示と合わせた記載とすることとし、凡例（図内にあるもののみ）を法の条項順に記載する。

△△市

市境がある場合は、2点鎖線で表示する。

下図は市町村の都市計画図等を利用し、周辺の地形地物、道路及び鉄道等を表示することにより、できる限り申請地の位置関係が分かりやすい表示とする。

〇〇市

枠のサイズは 25mm×100mm とする。(以下図面共通)

市を跨ぐときは、市名を記載し、用途地域を着色する。

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は 1/10,000 程度とする。

| 凡 例 | |
|-----|----------------------|
| 表 示 | 用 途 地 域 |
| | 第二種中高層住居専用地域 |
| | 第一種住居地域 |
| | 近隣商業地域 |
| | 商業地域 |
| | 準工業地域 |
| | 工業地域 |
| | 指定のない区域 (市街化調整区域) |

| 図面名称 | | 都市計画図 | |
|------|----------|-------|---|
| 縮 尺 | 1/10,000 | 図面番号 | 1 |



第一種住居地域

原則、図面右上に記載することとし、他の図においても、記載位置及び表示を合わせる。

申請地周辺については、現況に合わせて都市計画図を修正する。

用途地域の表示を都市計画図の表示と合わせることで、当該用途地域が分かるように表示する。
(市町村をまたぐ場合は、市町村ごとに表示する)

第二種中高層住居専用地域

申請地は形状を正確に赤枠で囲む。

申請地

市街化調整区域も表示する。
(市町村をまたぐ場合は、市町村ごとに表示する)

市街化調整区域

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は 1/2,500 程度とする。

| 図面名称 | | 付近見取図 | |
|------|---|---------|------|
| 縮 | 尺 | 1/2,500 | 図面番号 |
| | | | 2 |

主要な用途を記載する。

建物の境界線からの距離を建物の位置が定まるように記載する。

敷地が公園、広場、水面、線路敷等に接する場合は、()で記載する。
例：隣地（水路）境界線

敷地境界線は赤色とし、寸法（単位はmm）を敷地の外側に記載する。

計画概要

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 用途地域 | 第一種住居地域 | | |
| 主要用途 | 工場 | | |
| 構造・階数 | (増築部分) 鉄骨造平家建 (既存部分) 鉄骨造2階建 (他1棟) | | |
| 敷地面積 | 941.84 m ² | | |
| | 増築部分 | 既存部分 | 合計 |
| 建築面積 | 100.04 m ² | 334.76 m ² | 434.80 m ² |
| 延べ面積 | 100.04 m ² | 648.52 m ² | 748.56 m ² |
| 建蔽率 | 4.62/10 | | |
| 容積率 | 7.95/10 | | |

建蔽率・容積率は分数表記とし、議案書と整合させて小数第2位までとする。

建築物概要

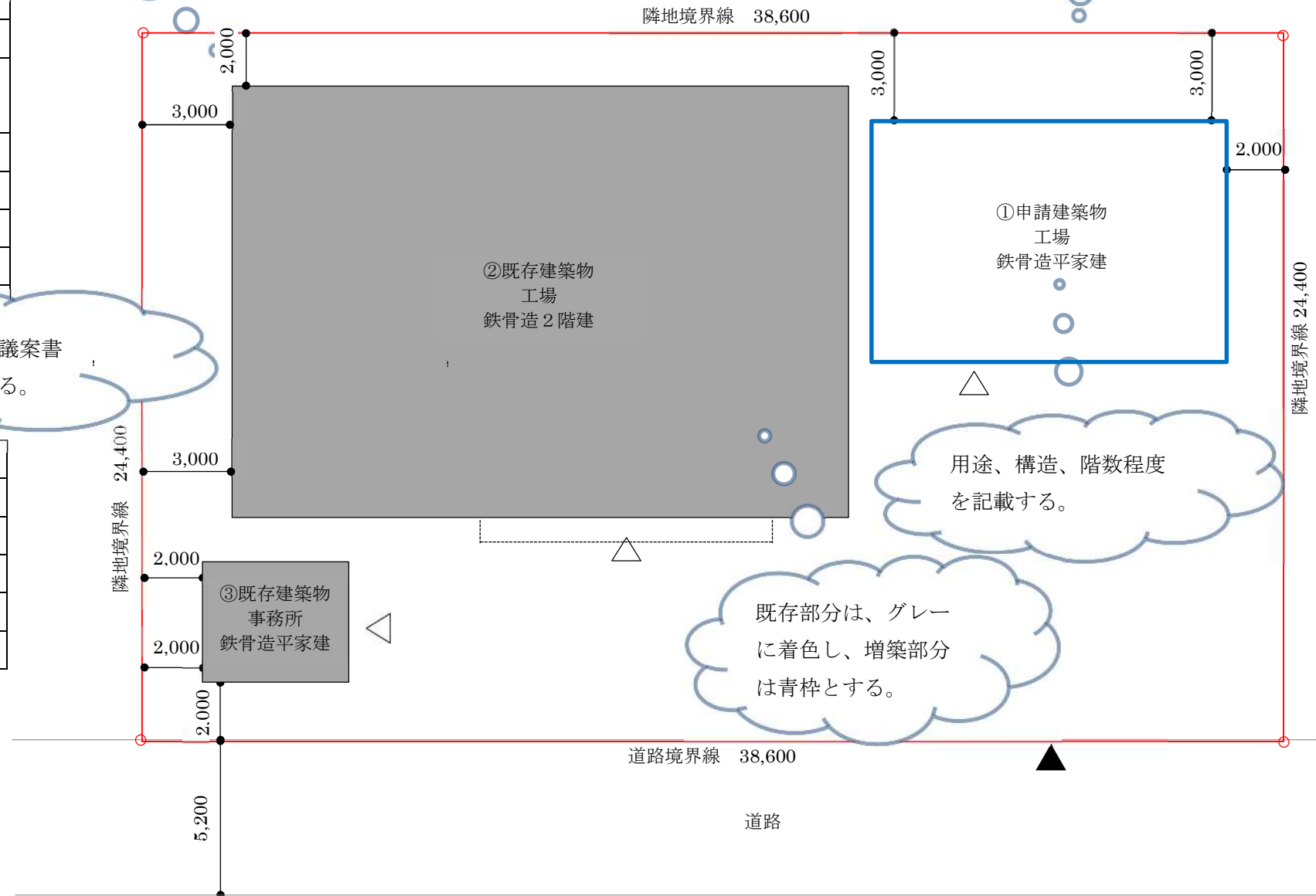
| | 棟 | 用途 | 構造・階数 | 建築面積 | 延べ面積 | 竣工年・備考 |
|------|---|-----|--------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 増築部分 | ① | 工場 | 鉄骨造平家建 | 100.04 m ² | 100.04 m ² | |
| 既存部分 | ② | 工場 | 鉄骨造2階建 | 313.76 m ² | 627.52 m ² | 昭和58年 |
| | ③ | 事務所 | 鉄骨造平家建 | 21.00 m ² | 21.00 m ² | 昭和58年 |
| | 計 | | | 334.76 m ² | 648.52 m ² | |
| 合計 | | | | 434.80 m ² | 748.56 m ² | |

凡例

| | |
|---|-------|
| ▲ | 敷地出入口 |
| △ | 建物出入口 |
| ■ | 増築部分 |
| ■ | 既存部分 |

3棟以上となる場合は、建築物概要として別途作成し、棟番号を図面と共に記載する。増築が先、既存は後とし、既存の建物は古いものの順に整理する。

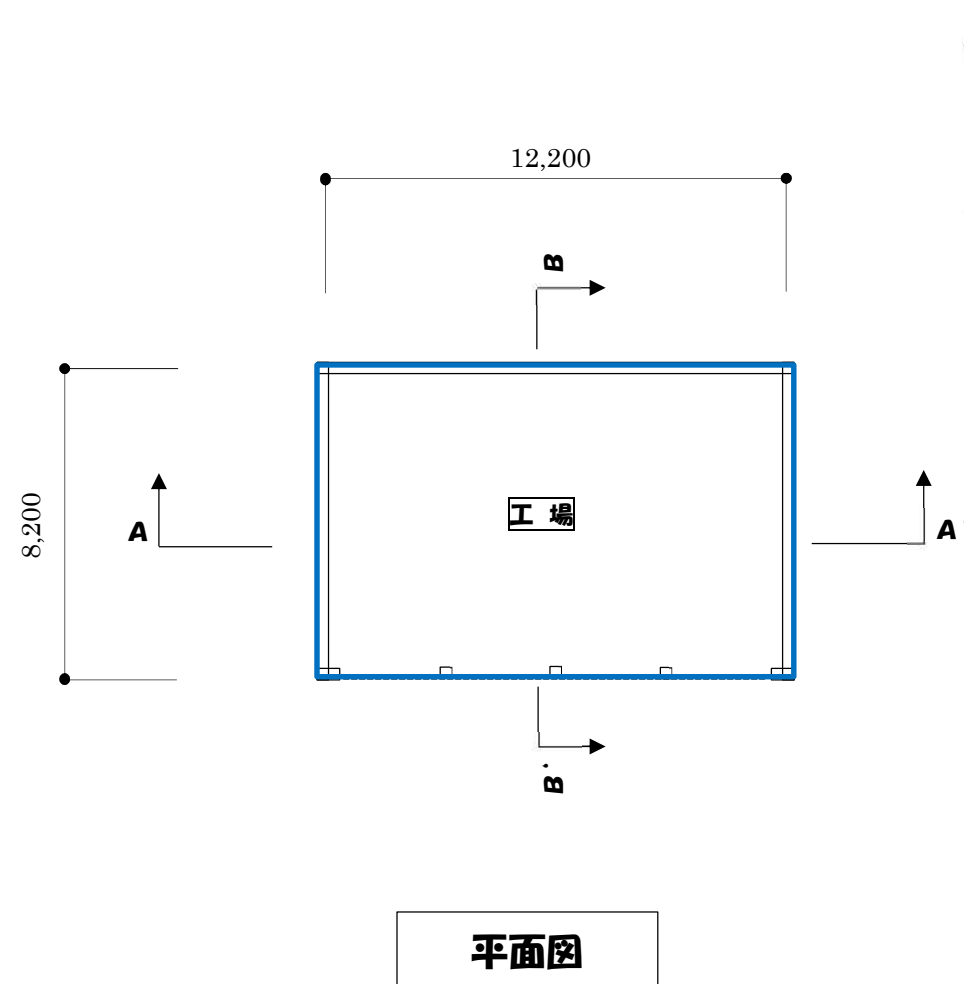
図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は1/200～1/600程度とする。



用途、構造、階数程度を記載する。

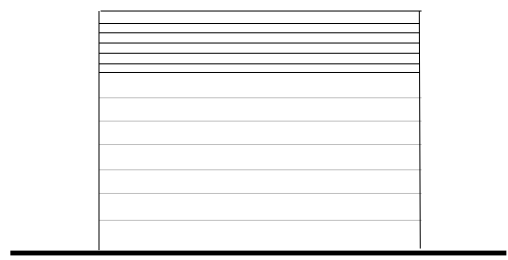
既存部分は、グレーに着色し、増築部分は青枠とする。

| 図面名称 | | 配置図 | | |
|------|-------|------|---|--|
| 縮尺 | 1/200 | 図面番号 | 3 | |

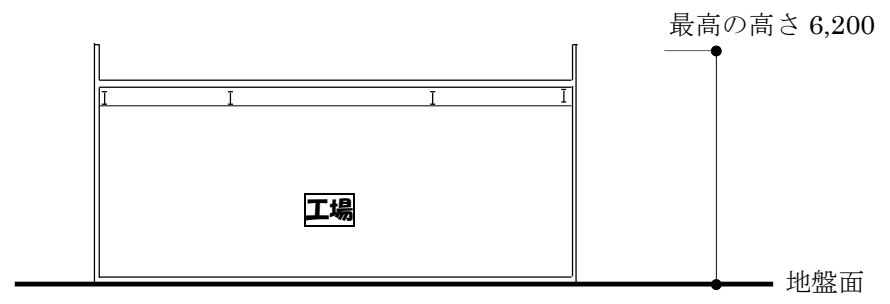


方位の関係のない図面が同一図書上に記載されている場合は、適切な位置に記載する。

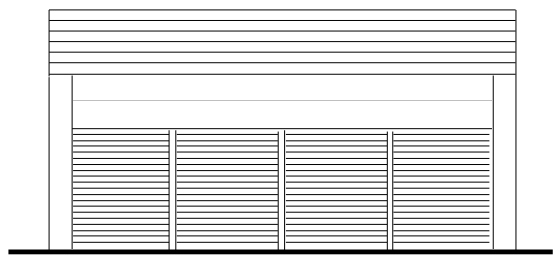
最高の高さを記載する。
(平面方向の寸法は記載不要)



東立面図

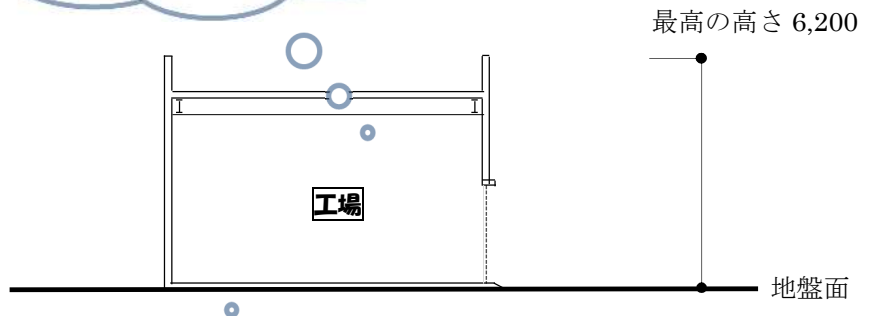


A-A'断面図



南立面図

奥の壁等は図示しない。



B-B'断面図

地盤面以下は記載しない。

建築物が小規模な場合等で、平面図、立面図等を同時に記載しても支障ない場合は、一緒に記載してもよい。

| 図面名称 | 平面図・立面図・断面図 | | |
|------|-------------|------|---|
| 縮尺 | 1/200 | 図面番号 | 4 |

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 計算日時 | 冬至 |
| 計算緯度 | 北緯 34° 59' |
| —— | 時刻日影 (8:00~16:00) |
| —— | 等時間日影 (2.5時間) |
| —— | 等時間日影 (4時間) |
| 測定面 (※) | 4m |
| 11,000 (11,000) | 建築物の高さ (mm) () 内は平均地盤面からの高さ |

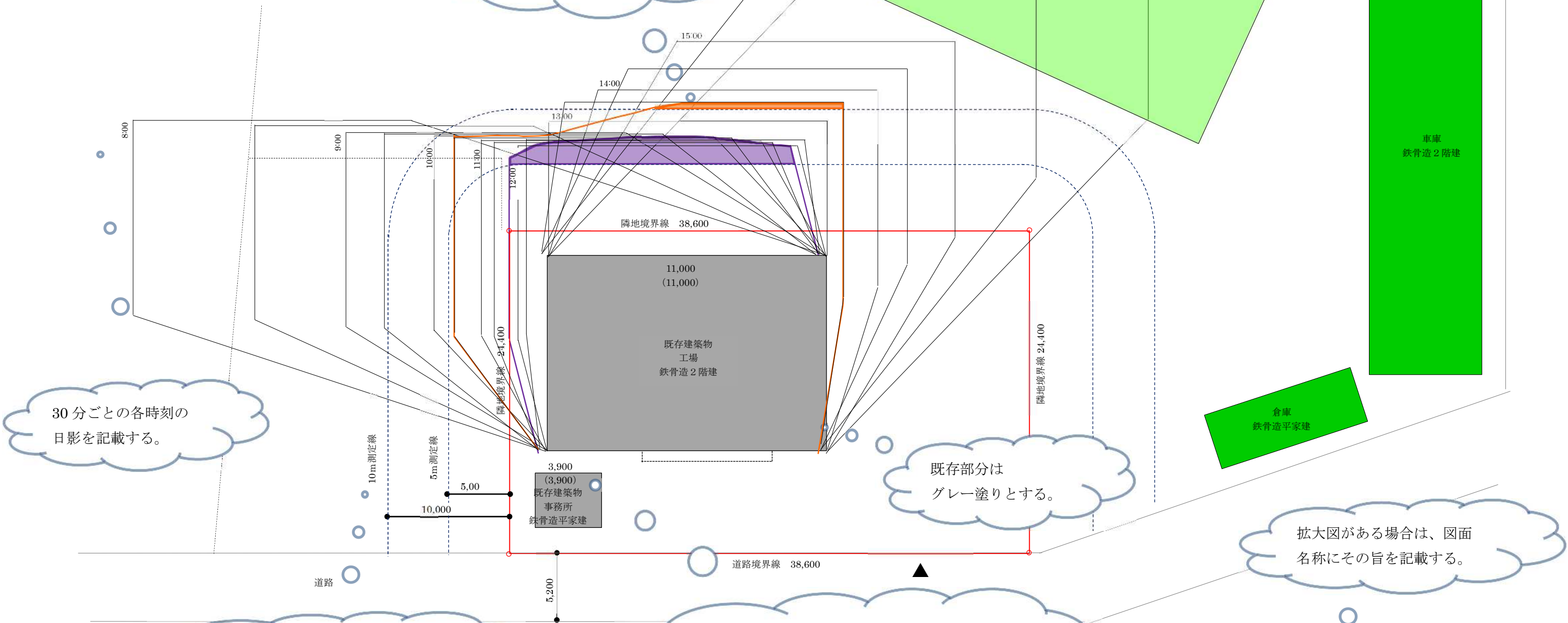
※別表第4 (は) 欄の高さ

凡例等を記載する。
 なお、等時間日影及び測定面は用途地域により異なるため注意する。

不適格の部分を着色
 (薄い紫色又は薄い橙色)

周囲の建築物について、用途、構造、階数を記載する。
 また、用途毎に色塗りする。

日影図の場合は、方位の表示を「真北」とする。



30分ごとの各時刻の日影を記載する。

既存部分はグレー塗りとする。

拡大図がある場合は、図面名称にその旨を記載する。

測定線を記載する。(水路等がある場合の測定線の位置に注意する)

建築物の高さと平均地盤面からの高さを記載する。なお、建物の部分毎に高さが異なる場合は、各部分毎に高さを記載することとし、高さの変わる部分を線で分ける。

| | | | |
|------|-------|------|---|
| 図面名称 | 現況日影図 | | |
| 縮尺 | 1/300 | 図面番号 | 5 |

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 計算日時 | 冬至 |
| 計算緯度 | 北緯 34° 59' |
| 時刻日影 (8:00~16:00) | |
| 等時間日影 (2.5時間) | |
| 等時間日影 (4時間) | |
| 測定面 (※) | 4m |
| 平均地盤面の変化 | 増築前の平均地盤面+20mm |
| 11,000 (10,980) | 建築物の高さ (mm) () 内は平均地盤面からの高さ |

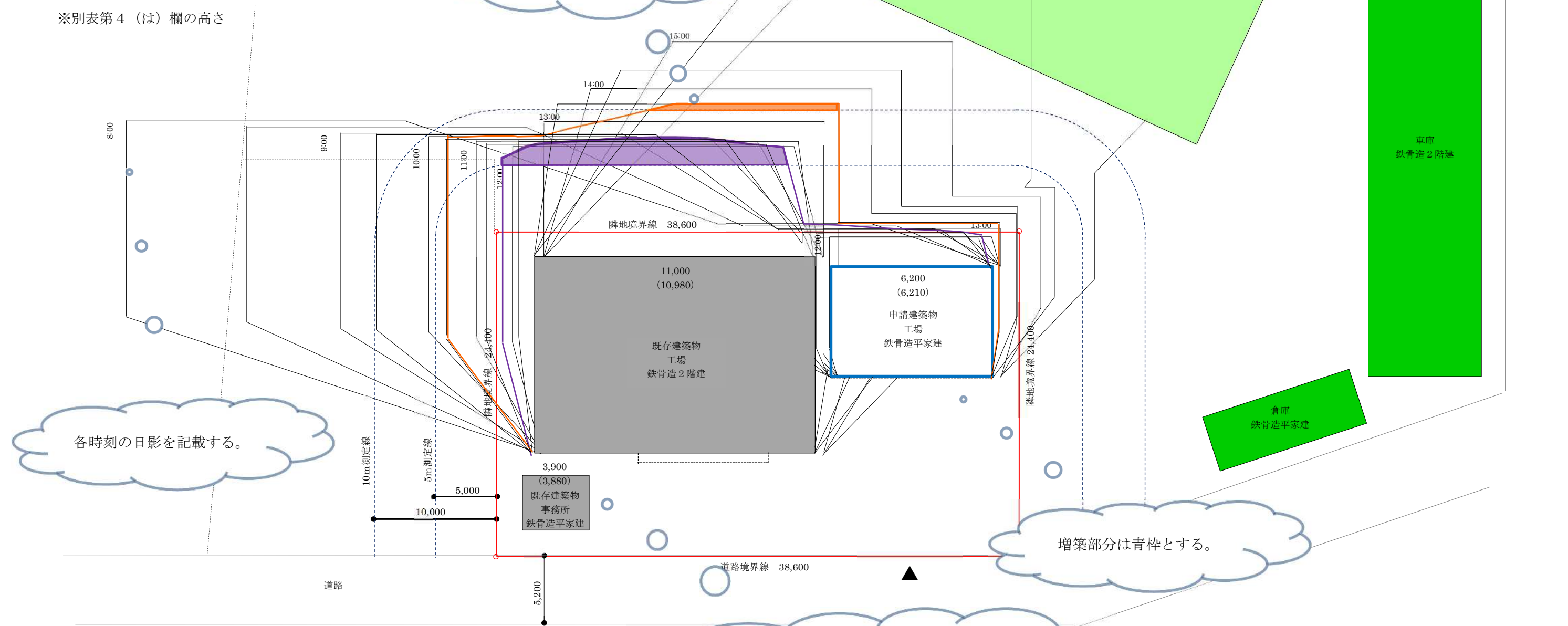
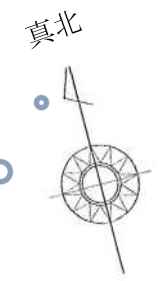
※別表第4 (は) 欄の高さ

凡例等を記載する。
なお、等時間日影及び測定面は用途地域により異なるため注意する。

不合格の部分を着色
(薄い紫色又は薄い橙色)

周囲の建築物について、用途、構造、階数を記載する。
また、用途毎に色塗りする。

日影図の場合は、方位の表示を「真北」とする。



各時刻の日影を記載する。

増築部分は青枠とする。

建築物の高さと平均地盤面からの高さを記載する。なお、建物の部分毎に高さが異なる場合は、各部分毎に高さを記載することとし、高さの変わる部分を線で分ける。

| | | | |
|------|-------|------|---|
| 図面名称 | 複合日影図 | | |
| 縮 尺 | 1/300 | 図面番号 | 6 |

| | |
|------------------|---------------------------------|
| 計算日時 | 冬至 |
| 計算緯度 | 北緯 34° 59' |
| —— | 時刻日影 (8:00~16:00) |
| —— | 等時間日影 (2.5時間) |
| —— | 等時間日影 (4時間) |
| 測定面 (※) | 4m |
| 6,200 (6,210) | 建築物の高さ (mm) () 内は平均地盤面からの高さ |

※別表第4 (は) 欄の高さ

凡例等を記載する。
 なお、等時間日影及び測定面は用途地域により異なるため注意する。

周囲の建築物について、用途、構造、階数を記載する。
 また、用途毎に色塗りする。

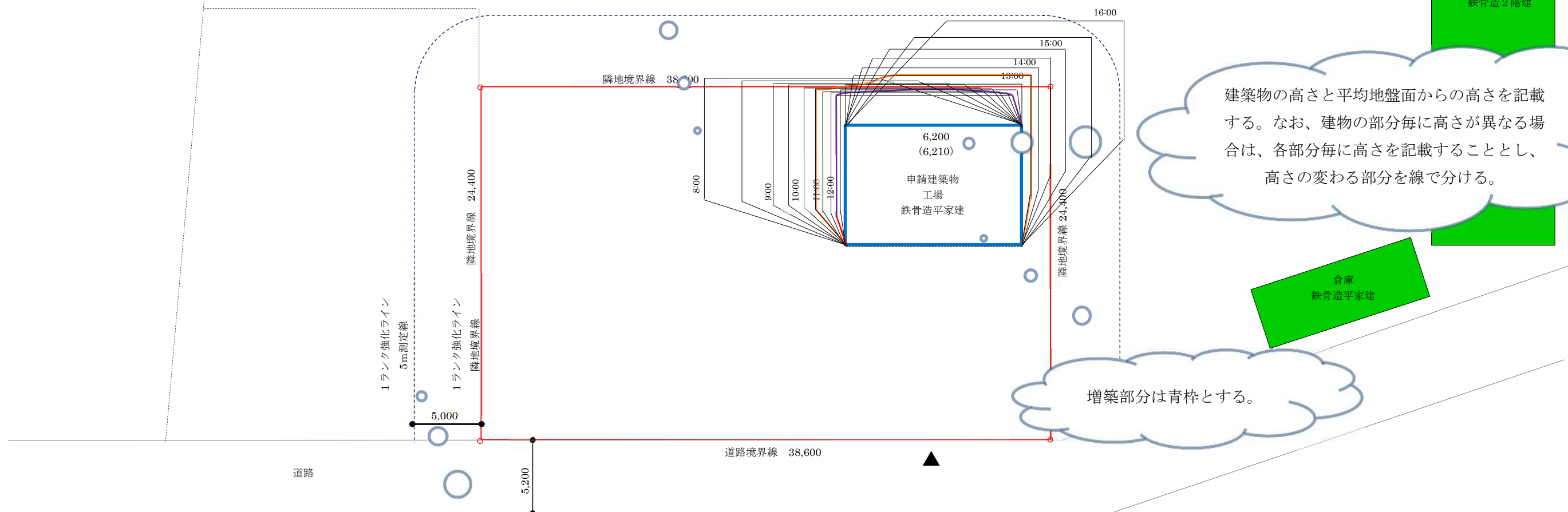
日影図の場合は、方位の表示を「真北」とする。

各時刻の日影を記載する。

建築物の高さと平均地盤面からの高さを記載する。なお、建物の部分毎に高さが異なる場合は、各部分毎に高さを記載することとし、高さの変わる部分を線で分ける。

増築部分は青枠とする。

単独日影図の測定ラインは、1ランク強化 (10mを5mライン、5mを隣地境界線) として、記載する。



| 図面名称 | | 単独日影図 | | |
|------|---|-------|------|---|
| 縮 | 尺 | 1/300 | 図面番号 | 7 |